

2017.3.1

支 部 通 信

No 71



長野県電気工事業工業組合
長野県電気工事協力会
長 野 支 部

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 (株) 長 野 (営) 所 長	山本 英夫	----- 2
3	地 区 だ よ り	長 水 地 区 長	伊藤 善宣	----- 3
		須 高 地 区 長	竹前 廣克	----- 4
		飯 山 地 区 会 計	宮 崎 至	----- 6
		中 野 地 区 長	玉木 新二	----- 6
		更 埴 副 地 区 長	倉 田 武 幸	----- 8
4	電 気 工 事 技 能 競 技 全 国 大 会	写 真 特 集		----- 9
		(有)伊東電機商会	伊東 敬晃	----- 12
		出 場 選 手	小 山 祐 樹	----- 13
5	フ リ ー ト ー ク	須 高 地 区	木 下 浩 治	----- 14
		飯 山 地 区	石 澤 勝 世	----- 16
		中 野 地 区	荒 井 均	----- 17
		更 埴 地 区	蟹 澤 佳 治	----- 18
		長 水 地 区	猪 俣 久 志	----- 19
6	編 集 後 記	総 務 委 員	渡 部 進	----- 20

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「メジロ」

見えかくれ居て 花こぼす 目白かな / 富安風生

全長 11.5cm。日本では全国の平地から山地の林に住む。西南日本の常緑広葉樹林に多く、市街地の庭や公園でも見かける。

からだのあざやかな黄緑色からウグイスと間違えられやすいが、メジロの特徴は目のまわりの白いフチドリがあること。

食性は雑食だが花の蜜を好む。

写真撮影：白井 長人 氏



60回目の春を迎えて

～ 青い鳥 ～

支部長 大田 敬壹

人生は「青い鳥」を探して歩み出す。けれど捕まえようと手を伸ばせば、直ぐに消えてしまう。その繰り返し。刻々と流れる歳月は、人の肩にも雪のように降り積もり、いつしか60回目の春を迎えた。何処から来たのか、その鳥は「還暦」という言葉を告げて飛び去った。それは遠い先のことだと思っていた。

改めて、新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工事業工業組合並びに電気工事協会会長長野支部そして長野電気引込工事センターの活動に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。

昨年は、全日電工連主催の技能競技全国大会が開催され、長野支部から長野県の代表として(有)伊東電機商会さんの小山祐樹選手が出場されました。そして大会では優秀な成績を残されました。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

また4月から始まった一般小売の電力の自由化は、中部電力様をはじめ、我々の業界にも大きな影響を与えました。その中で、会員の皆様からの新增設の引込工事や中部電力様から引込線点検改修工事(劣化張替)のご発注を頂き、長野電気引込工事センターも順調な運営ができました。感謝を申し上げます。そして今年度はセンターを含め長野支部が大きく変わります。更なる皆様のご指導とご協力を頂き、支部の一層の向上を目指し邁進したいと考えています。

さて、昔の人は夜空に瞬く星に、それぞれの願いを込めて祈りました。冬の星座で代表的な「オリオン星座」にも、世界各地で様々な呼び方があります。その名の由来は、ギリシャ神話の海の神ポセイドンの子で猟師の「オリオン」の名前ですが、日本でもその形が和楽器の鼓に似ていることから「つつみ星」とも呼びました。古事記にある住吉三神にたとえられ、航海の無事を願って守り神にしてきました。病気がちな両親を親孝行の息子が背負う姿に見立てて「親かつぎ星」と呼ぶ地方もあります。インドでは孝行息子が目の不自由な両親を担ぐのに使った天秤棒が「三ツ星」になったといわれます。人は同じ星にそれぞれの想いと願いを込め、生まれた場所や時代が違っていても、「宿世」という大河を見つめ、互いに寄り添うように生きてきました。その大河にこそ「青い鳥」は生きてるように思います。

皆様にとって今年一年が良き年でありますようにお祈り申し上げます。





ご挨拶

中部電力株式会社
長野営業所長 山本 英夫

初春の候、会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は弊社事業に対し、格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年4月に私が初めて長野に着任してからほぼ1年が経過しますが、その間、さまざまな人と出会い、あちらこちらに出かけ、いろいろなものを食することで、信州を満喫し、その素晴らしさを存分に味わっているところです。一方で、この冬の大雪と寒さが身に沁み、うららかな春が待ち遠しい今日この頃です。

さて、弊社を取り巻く環境は、昨年4月に家庭用まで含めた電力の小売全面自由化が始まり、今年4月からはいよいよガスの小売全面自由化がスタートするなど、急激に変化しています。また、社内的にも、昨年4月から「発電」「送配電」「小売」の各カンパニーに分かれ、自律的な事業運営により各々収益を上げていく体制となりました。

このように事業環境が大きく変化する中においても、我々営業所は「送配電」を担う部署として「安定供給」を使命としていくことに変わりはありません。しかしながら、この事業環境の変化の中においては変革を求められ、徹底した業務効率化を進めていく必要があります。その一環として、皆さまにもご協力いただきながら進めてまいりました「インターネット受付」や「計器宅配」がほぼ定着するに至りましたが、これはひとえに皆さま方のご理解の賜物と感謝申し上げます。さらなる利便性の向上に努めますので、引き続きのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、営業所の変わらぬ使命である「安定供給」に資する配電設備の形成に必要な引込線や計器接続工事を担っていただく引込工事センターの役割と重要性も変わるものではありませんので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

最後になりますが、私がとても上手いと感心したスローガン「“今一度 初心に戻り再確認” 基本作業と安全確認」(株)長野県電気工事協力会さまの平成28年度安全スローガン)を合言葉に、作業安全と交通安全に十分ご留意いただきますようお願い申し上げますとともに、会員の皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。





地区だより

地区再編成に向けて

長水地区

長水地区長 伊藤 善宣

新年あけましておめでとうございます。

元旦、初日の出があいにくの曇り空でしたが8時20分頃、雲の隙間から太陽が覗かせ例年通り家族の健康、又、酉年とあって商売繁盛を願いました。1週間の年末・年始休業の翌日、今は電気業界だけになったと思われる資材問屋さんの初荷が当社でも3社、約30名で行われた。段々衰退していく、いわばお祭り行事も業界が掲げる製・販・工 一体の趣旨と思い受け入れています。



長水地区では今年ブロック及び地区再編成とあって、昨年の事業はすべて「お別れ」が頭につきました。中でも、年に2回行われる第3・第4ブロックが主催とする10年以上続いたゴルフコンペが11月11日、長野国際カントリーで中部電力さん・保安協会さん・資材問屋さん・メーカーさんと大勢の参

加で行われました。最後とあって、表彰式では豪華な景品が配られ、盛大に盛り上がりました。出席者全員から来年も続けていきたいという意見があり主催者名変更で、より多くの参加を募って長く続けていきたいと思えます。

12月2日には第2回定例打合せが行われ、安全大会では労働基準監督署から牧野産業衛生専門官さんが「労働災害防止について」電気業界向けに作成した資料に基づいた講話、県電気工事協力会の塚田担当部長さんから「事故発生状況と安全管理」について講話をいただきました。



長野県電気工事業工業組合
長野県電気工事協力会長水地区
安全大会

平成28年12月2日

長野労働基準監督署

年間行事、今年は3月に第3回定例・保護具防具耐圧試験・昇降柱訓練・店頭パトロールと、たくさんありますが、多くの参加をよろしくお願ひします。

最後に、両国国技館で行われた第2回電気工事技能競技全国大会に長野支部（長水地区）として参加された伊東電機商会の小山さんに、地区の名誉として感謝いたします。

最後に、両国国技館で行われた第2回電気工事技能競技全国大会に長野支部（長水地区）として参加された伊東電機商会の小山さんに、地区の名誉として感謝いたします。



須高地区 全員の参加で行っています

須高地区長 竹前廣克

今年のお正月は、ぽかぽか陽気で新年を迎えましたが、1月14日から降り始めた雪は15日・16日と降り続き、毎日朝は家、昼間は会社と雪かたづけに明け暮れた。今シーズン最高、いや人生最高の大雪を経験しました。

この時期に地区は、定例会・交通安全講話・新年会を行っております。今年は1月18日（水）に光臨閣で開催し、交通安全講話を須坂警察署の坂下交通課長様にお願ひしました。須高地区管内での取り締まりの状況のお話では、事故の起きる交

差点・信号無視の多い交差点は、見通しの良い場所であるがゆえに無理をして通過しようとする、相手に譲る気持ちでハンドルを握ってくださいとのこと。シートベルト・携帯電話の取り締まりの場所も同じところでやっていますが、違反がなくなるとのこと。また、速度違反のことで質問がありましたが、法定速度の10 Km/h オーバーまでは捕まらないようです。交通規則を守り今年も無事故で過ごせるよう気を引き締めるところです。

定例会では、5月に行っている研修旅行を、担当のミワ電機商会竹内委員長より提案が出され、研修先は東海コンクリート工業で、電柱の出来上がるまでの工程を見学・電柱の強度試験では、引っ張り試験（電柱はどのくらいしなりに耐えるか）を視察できそうです。須高地区は各委員会の委員長さんが、年間事業の段取りをして各事業を進めており組合員全員参加で取り組んでいます。

また、須高地区は工業組合として、須坂市・小布施町・高山村の3市長村と災害協定を結んでおり、須坂市の防災訓練には毎年参加しています。そのような関係で地区の新年会には須坂市長三木様にご出席いただき行政との交流を深めております。今年は、会議の関係で遅れてこられましたが、出席者全員に声をかけていました。須高地区は今後も先輩の築いた歴史を大切にしていきます。



新年定例会



防災訓練





飯山地区

インバウンド

飯山地区会計 宮崎 至

インバウンド・・・観光産業では外国人観光客の訪日旅行ということで、国や長野県も力をいれています。わが野沢温泉村もインバウンドに取り組んで10年ほどですが、今年も大勢の外国人観光客で賑わっています。昨シーズンは外国人客の宿泊が7万泊といった統計もあります。ここ数年、施設内の無線LANアクセスポイント設置工事、リノベーション工事など電気屋も、増え続ける外国人客の恩恵を受けています。

しかし残念なニュースもありました。昨年末、大麻入りの食品を輸入して逮捕者がでました。海外資本の外国人スタッフでしたが、来客数の増加で犯罪が増えないことを祈っています。スキーと温泉が楽しめる静かな村です。訪れる外国人観光客のほとんどもそれを望んでいます。大勢の観光客を受け入れながら、日本の村らしさを守っていけるのか？

彼らと関わる一人として、注目していきたいと思います。



中野地区

地区の一年を振り返り

中野地区長 玉木新二

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

去年から地区長になり、早いもので1年9か月経ちました。予定していた保護具・防具の耐圧試験また昇降柱訓練など無事終わることが出来ました。また、市、町の協力により電気使用安全月間で高齢者住宅配線診断は、中野地区27軒、山ノ内地区7軒と去年より多く配線診断を行いました。高齢者の皆様に、お礼をいただき感謝されました。私たちも、大変嬉しくやりがいを感じました。役員、会員の皆様に協力していただきありがとうございました。パトロールについては6店の店舗パトロールを計画どおり実施できましたが、今年度も現場パトロールが出来なくまた計画をしたいと思っています。

11月には安全大会を開催し、講師に北信総合病院の黒崎先生（保健師）をお呼びして「たばこと健康」の講話をいただきました。煙草は体に害があることがよく

わかったのではないかと思います。喫煙ができる所が少なくなり、禁煙するよう努力しましょう。同じ日に交通安全講習会も行い、中野警察署の長橋交通課長による「工作中的交通事故について」講話をしていただきました。いろいろな事例を聞き交通事故が多いので、安全運転に気をつけるよう心掛けたいと思います。

今年は第2回電気工事技能競技全国大会が東京・両国国技館で、開催されました。長野支部が出ることになり応援に行きました。初めて応援に行き感動しました。競技のレベルが高くびっくりし、長野支部もレベルが高く健闘しました。入賞には届きませんが、よくできたと思います。今後の仕事に繋げてほしいと思います。ご苦労さまでした。

協力会長野支部の収れんに合わせて中野地区と飯山地区を合併することになり、地区役員と会合を開催し協議を重ねてきました。両地区の内容が多きく違い、現在の段階ではひとつにできないため、飯山・中野地区として2年間は現状を維持していきますのでよろしくお願いします。今後2年間かけて協議をし決めていきたいと思っていますので、ご協力お願いします。



最後に、今年は酉年です。中野地区が鳥のように羽ばたき素晴らしい年になるよう地区長として頑張りますので、会員の皆様ご協力をお願い致します。

最後に、今年は酉年です。中野地区が鳥のように羽ばたき素晴らしい

しい年になるよう地区長として頑張りますので、会員の皆様ご協力をお願い致します。



1月22日～25日にシンガポールに行ってきました。物価はかなり高かったのですが楽しんできました。

写真はシンガポールの
ランドマーク
『マリーナ・ベイ・サンズ ホテル』
(上)と
『マーライオン』(右)



更埴地区

篠ノ井のまつり 恵比寿講

更埴副地区長 倉田 武幸

私は久々に、地元篠ノ井の秋のまつり『恵比寿講』に、妻と孫を連れて歩行者天国を歩いてみました。今まで地元のまつりには行ったことがほとんどありませんでした。長野のびんずるまつりは20年くらい町の役員さん達と一緒に、昼は電気工事、夜は電気の管理などをしてお手伝いしています。びんずるまつりは一番熱い8月に、篠ノ井の恵比寿講は11月のとても寒い日に行われます。

当日、駅前通りの両脇には露天商40店余りが出店し、大勢の市民で賑わいました。第18回しののいソーランでは県内外から14チーム700人余りが参加し、白熱した踊りとパフォーマンスが披露されました。また隣の新潟県から新潟総踊りのメンバー50余名が特別参加して、会場は大変盛り上がりました。この他、魔法使いアキットショーや篠ノ井東中学校と西中学校の吹奏楽演奏など、長野びんずるにはない篠ノ井独自の工夫がされていました。長野のまつりとはかなり違い驚きました。

また、若い人達が先頭に立って大勢の人が参加していました。篠ノ井の町も世代交代で、より活発な町になりそうな気がします。昔は駅前に大型店ジャスコがあり、一時は結構賑わっていました。メイン通りを外れ横道に入ってみると、昔ながらの小さなお店や古い住宅などの建物がたくさんあるのに驚きました。篠ノ井の町の歴史や文化に触れたような気がしました。

帰り際に露天商の人に勧められ名物の広島風お好み焼きを買い、家へと向かいました。車では見ることのできない風景に感動し、ゆったりとした時間を過ごすことができた半日でした。



長野支部新年会

工業組合長野支部
工事協力会長野支部
野電気引込工事センター
新年会

1月24日(火)
ホテルメトロポリタンにて
109名出席がありました



第2回 電気工事 技能競技全国大会



出場選手：小山祐樹さん 30歳 有限会社伊東電機商会

開催日	平成28年11月25日(金) 学科競技 24日(木) ※非公開
会場	両国国技館 東京都墨田区横網
主催	全日本電気工事業工業組合連合会
共催	各ブロック電気工事組合連合会 各都道府県電気工事業工業組合
後援	経済産業省 国土交通省 文部科学省 他



競え！ 翔け！ 技モノがたり

全日電工連主催の第2回電気工事技能競技大会は、これまでの一般の部 30名に加え、今回新たに女性の部・高校生の部（各5名）が加わり、男女共同参画社会の実現に寄与するとともに、電気工事業界の将来の担い手の育成や、入職及び教育活動の振興の一助をめざした。

競技は、技能競技（実技）と、前日実施の学科競技（60分・非公開）との総合点で行われた。技能競技は、下の写真に示す通り、選手1名が課題に基づき競技パネルに作品を制限時間内（一般・180分、女性150分、高校生・120分）に完成させるというものであった。

当支部から長野県代表として出場した、(有)伊東電機商会の小山選手は、優勝した隣7番の小柳選手（佐賀県）にも決して劣らない立派な出来栄であったが、惜しくも入賞を逃した。心から健闘を讃えるものである。





目指すは熱き孤高の和!

店主のことば

Precious experience 貴重な体験から学ぶこと

有限会社伊東電機商会 代表取締役 伊東 敬 晃

「じゃあ、くじびきでいいですか？」 「・・・・」 返事がない。
「ウチに決まっても、選手なんか出せませんよ」 そうだよねえ・・・
7月下旬の夜。電気会館の3階会議室。青年部長野支部会員を集め、選手選出の2回目の会議。堂々巡りで時間だけが過ぎて行く。11月に行われる『第2回電気工事技能競技全国大会』に長野支部から選手を選出することになり、公募をしてきたが決まらない。技能競技大会の翌日に第2回全国青年部会員大会も開催されることから、「青年部から選手を出してもらえねえ？」ということで、会員を集め協議をしたが決まらない。決まりっこない。結局、青年部長野支部長の責任として、当社から選手を出す事になった。社員の中から誰を選抜するか？一晩、眠れない夜を過ごし、翌日の朝、ミーティングの際、小山君を指名した。

会社の倉庫を片付けて、コンパネ2枚を使い競技用のパネルを組み立て、材料を準備して、練習を開始した。最初は、設計図、作業指示書をにらめっこするだけで、途方に暮れた。「どうすりゃいいんだ？」「とりあえず、作ってみるか？」やってみたがうまくいかない。取引先の会社に支援を依頼し、技能オリンピックの経験者に講師として来てもらい、イロイロとコツを伝授してもらった。パイプ、ケーブルの曲げは6R以上確保し、また、きれいに見えるサドル、ステップルの位置はどこか？CADで寸法入りの図面を作成し、修正を加えながら、課題の練習を繰り返した。上手く出来たと思っても、次にやってみるとうまくいかない。ネックはやはり、金属管の曲げ加工だ。E19,25を何十本も買って、会社のごみ箱が曲げたパイプであふれるほど練習してくれた。競技時間は3時間だが、当初は4時間ほどかかった。練習を繰り返し、最後は2時間40分ほどで完成できるようになり、両国国技館へ向かった。競技時間中、他の選手のブースを見て回ったが、各県、地区の予選を勝ち抜いてきた選手も大勢おるようで、応援団ともども揃いの衣装に身を包み、我々とは気合の入り方がまるで違っていた。しかし、小山君も課題を2時間30分ほどで完成させ、その出来栄は練習の成果を十二分に発揮し、一歩も引けをとるものではなかったと思っている。残念ながら入賞することは出来なかったが、「しょうがない出るか」で出た割にはよくやったと思い、小山君に感謝の念で一杯である。

先日、全日電工連から講評が届いた。『作品の美しさは見事だ』と書いてあったが、『パイプに出した加工用の墨が消していない』『えっ、消すの？』・・・
学科の点数も悪かったようである。「勉強しなかったもん、しょうがねえよ」・・・
成り行きで出場することになりイヤイヤで始めたが、試行錯誤しながら練習を繰り返し、大会に出場した事は、とてもよい経験になり将来役に立つことと思います。
ご声援ありがとうございました。

出場選手

小山 祐樹



2 時間半の壁に挑む

「ごめん小山君…。」

社長のひと言から始まった。まさか俺が大会に出場するなんて。その日俺は昼食も夜のビールも、何も喉を通らない。「どうするん俺？」

その翌日からさっそく会社の倉庫の片づけをし、社長と二人で買い出しに行き、練習の準備は整った。「とりあえず作ってみよう」

が、しかしこれ3時間じゃ終わらない。取引先の会社に社長が依頼し、技能オリンピックの出場経験者に来ていただくことになった。その甲斐もあり3時間の壁は破った。やがて俺は2時間半を切るという目標を立てたが、ついに大会前日まで叶わなかった。なるようになるさと思った俺は、大会前日にもかかわらずえびす講花火大会に行った。

「大会当日は、今夜見た花火のように散ってやるぜ!!」

そう考えながら床についた。

ついに来てしまった大会当日。社長とアテンド2名の総員4名が、朝会社に集合し出発。雪の舞う関越自動車道を、颯爽と走る黒いハイエースが東京へ向かう。途中、予定の到着時刻に間に合わないと思ったが、社長のすばらしいアクセルワークとハンドルさばきで、なんとか国技館に到着した。

一日目の学科競技は案の定、全然ダメだった。でも仲間4人で行った『ちゃんこ霧島』の手羽先と酒は最高にうまかった。その日はほどほどにし、ホテルに戻り眠りについた。

迎えた技能競技当日。始まってしまえば緊張もせず、皆さんの応援もあり目指していた2時間半の壁も打ち砕いてやった。感無量。

結果は期待に応えることができませんでしたが、応援して下さった皆様、大会まで日々支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。貴重な体験をさせて下さった社長には、心から感謝しております。平成28年11月は一生忘れません。

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー

ちょっと
ティー・タイム



Slackline World Cup Japan

—スラックライン ワールドカップジャパン—

須高地区 木下 浩治 (木下ラジオ店)



スラックライン (Slackline) とは幅 5cm のビニール製のライン (ラッシングベルトに似た物) の上を歩いたり、跳ねたりするスポーツで世界 80 カ国、250 万人以上の愛好者いるそうです。体幹、身体の核 (コア) となる部分を鍛えるトレーニングになり、子どもから大人まで遊びながら楽しく体幹を使う感覚を実感できるスポーツで、スポーツ選手やスポーツジム、リハビリ施設、フィットネスクラブなどでも注目を集めています。

そんなスラックラインで私の息子は 2016 年、X-GAMES (アメリカ) 優勝。 GoPro Mountain Games

(アメリカ)3位。NATURAL GAMES (フランス)優勝。Slackline World Masters 2016 (ドイツ)優勝と世界四大大会にも出場させていただきました。三大会制覇は日本人初の快挙だそうです。世界に出れば日本人なんて···と言われてきましたが海外からの視線がかなり日本に向いてきました。2016日本ランキングでも1位になることができ、益々練習に汗を流しています(勉強はしません)。

そして小布施町では2014年~2016年までスラックラインの全国大会を開催し、そのノウハウで今年はアジア初のスラックラインW杯(ワールドカップ)を長野県、長野県教育委員会からも後援を受け開催する事になりました。世界のトップライダーが一堂に技を競います。今まさに準備中ですが想像以上に大変です。人とのつながりや応援してくれる仲間がいなくてできるものではありません。この業界の大先輩にも支援していただいています。本当に感謝感謝です。

また当日はW杯会場の隣ではフェスも開催予定。地場産品や須高のPRブースも併設される予定です。皆さんも是非小布施にお越しください。応援よろしく!

まだまだメジャーではありませんが、このW杯の向こうにはオリンピックがあります。将来何とか正式種目にしたいと思い仲間と日々努力しています。



2017 Slackline World Cup Japan 【FULL COMBO】

2017年9月17日(日)

18日(月)

【公開練習】16日(土)

【会場】

小布施ハイウェイオアシス
(小布施総合公園)

上高井郡小布施町大島

【主催】

2017スラックラインワールド
カップジャパン
実行委員会



飯山線にSLが！

飯山地区 石澤 勝世（有限会社信越電機）

えっもう原稿依頼！！早くもまた原稿執筆の順番が来てしまった。と言っても今回はネタがあるんですねー。そうテレビやインターネットでも話題になりましたが 11月19日・20日の二日間、昭和47年以来44年ぶりに飯山線を蒸気機関車が走ったのです。

あいにくの天気にもかかわらず沿線の見学者も大勢で子供からおとなまで1万5千人ほどの人出がありました。鉄道マニアのカメラマンも多く、それらの車で沿道は大渋滞を引き起こすほどでした。

黒光りの車体の機関車は3両の客車を引っ張り 200人 を乗せて力強く走り抜けました。44年前というと私はまだ小学生でした。わが社は西大滝駅のすぐ前にあり、そんなことで子供のころ汽笛の音に怖がりながらもよく見に行ったものでした。



火をおこし、できた蕎麦を茹でて宴会&試食会です。自分の打った蕎麦を褒め称え、蕎麦だかうどんだか解らない物まで出てきても、アルコールのせいにして楽しく大晦日を過ごしています。

蕎麦打ちは夕方までに知り合いや自宅分と合わせて15kg位打ち、自宅に打ち立ての年越し蕎麦を持ち帰り、家族に食べていたたくと結構評判が良く、いつも仲間と飲み会をして帰りが遅くなるのも年越し蕎麦で帳消し、そしてまた新年会から暮れまで一年間評判を落とす

ときどき運転席に乗せてもらったり、運転手さんからなぜかリンゴをもらったのを覚えています。その昔は東京電力の西大滝ダム建設の資材を運ぶための飯山線であり西大滝駅であり、周辺は都会さながらの様相だったそうです。

いろいろなことを思い出させてくれた二日間でした。



Photo by 石澤 勝彦



年越しそば

中野地区

荒井 均
(有限会社あらい電気)

数年前より近所のおっさん十人ほどで、荒廃農地利用も兼ねて秋そば作りを始めました。蕎麦は種まきから二ヶ月半で収穫でき、雑草より強く手間がかからないとのことで始めました。このおっさん十人衆、種まき・収穫・脱穀の度に毎回集まっては、六時間ほど飲んで騒いで楽しんでいきます。

大晦日は収穫した蕎麦粉で蕎麦を打ち、一年が終わります。一昨年まで、そば打ち人足は水回し・捏ね三人と、のし切り名人が一人だけでした。そこで昨年末に「自分の年越し蕎麦は自分で打て！」と話が出て、そば打ち道具を新調し合計三基でアルコール少なめの蕎麦打ちデビュー戦となりました。

名人にいろいろ教わりながらもなんとか仕上げがり、昼前からかまど竈で

40過ぎからの趣味

更埴地区 蟹澤 佳治（賛宝電気株式会社）

3年前、なんか面白いことないかなってアウトドアショップに立ち寄った。昔とはまるで違う竿やリール、ルアーを見かけた。なんかかっこいい、思わずスピニンググロッドとスピニングリール、ラインを購入。ルアーでブラックバス釣りあげてやる。とりあえず一番安いルアーを5、6個購入。さっそく川に行って投げてみた。慣れるまでなかなか思うところに投げれなくて、投げては巻いてを続けていたら『コツン!!』何か当たった!! ビギナーズラックってやつ。

何年かぶりの魚が掛かった感触に興奮した。そこから色々な竿やリール、ルアーを買い、休みになれば朝4時起きして川に釣りに出かけるようになった。最初のうちとはとにかく釣れば楽しかったけど、やっぱりデカいやつを釣りたい! 『釣り具屋GO』最初はこんなルアーに食いつくわけないって思っていたデカいルアーを購入してみた。全長178mm重さ48gガウ違いを2個。こいつでデカいやつを釣るぜ!!

しかし投げるには重いルアーでした。1時間も投げてれば腕がパンパンになって、しかも釣れない。諦めて他のルアーで釣ろうかな…。なくしたらショックだし…。岸際までゆっくり巻いて回収しようかと思ったら『ゴツン!!』下から何か食いあげてきた。重いぞ!!今までにない引きと重さを感じながらリールを巻いたら『デカ!!!』46cmのブラックバスが釣れた。もうやみつきになってしまいました。

あと、釣り場で色々な人とも出会って、一番若いのは小学5年生から70才位のおじさんまで友達になり、釣りの話だけでなく色々な年代の人達の話聞いてとてもプラスになっています。40才過ぎて始めた趣味は自分にとって気持ちのスイッチのオンオフにも役立っています。今年も暖かくなったら楽しみたいと思います。



地附山ロープウェイ

長水地区 猪俣 久志 (有限会社ハイテック)

数年前ですが、長野市地附山にロープウェイがあった事、そしてロープウェイの山麓駅の跡地がまだあると、TVで放送された。間もなくして懐かしさに心惹かれ、地附山トレッキングコースを登り様子を見に行ってみた。山頂に付き周辺をカメラに収めながら 昔の記憶と照らし合わせてみた。当時、小学生だった私は地附山スキー場ヘスキー教室で訪れたこともあったなあ…。何と滑走式Tバーリフトの索道モーターが原型を留めていたのは感動でした。5.5k モーター、通電すれば動きそうです。



それから年月が過ぎ、昨年末にSBCテレビでかつて長野市に巨大アミューズメントパークがあった??と題した番組が放送されることを知り、もしや?と思い録画を試してみました。トレッキングをした際には知る事のできなかった観光開発計画から廃止に至るまでをレポートされていました。

1960年(昭和35年)6月から5カ年計画で、善光寺・城山公園・地附山・飯綱高原一帯の整備と温泉場の開発が始まり、何と翌年3月にはロープウェイが開業。自衛隊の協力も得て観光道路も完成し、スキー場・動物園・遊園地・ヘルスセンター・ゴルフ場などが開業し、初年度には50万人がロープウェイを利用したようです。しかし盛業していたのはわずか4・5年。戸隠バードラインの開道により地附山は通過地となりこのエリアは低迷を始め、残念な事に1975年(昭和50年)に正式に廃止されました。この開発にあたっては、当組合に加入されておられる事業所の方々も多く参加されていたのではないのでしょうか。

今日のような技術や利便性を思うと当時この短期間でこれだけの施設を整備された先人たちに頭が下がる思いと、日本各地にこのような施設があったことに懐かしさだけではなく少々複雑な思いがしました。



「認定電気工事従事者」という資格をご存知ですか？

● 1 「認定電気工事従事者」認定証の交付を受けた方は

高圧で受電するビル等の最大電力 500 k W未満の需要設備(以下「自家用電気工作物」という)の電気工事には、第一種電気工事士の資格が必要です。

しかし、「認定電気工事従事者」認定証の交付を受けると、自家用電気工作物の電気工事のうち、電圧 600 V以下で使用する電気工作物の工事(簡易電気工事)に従事することができます。(ただし、電線路に係る工事は除く)

第二種電気工事士の資格では、自家用電気工作物の電気工事に従事することはできませんのでご注意ください。

● 2 「認定電気工事従事者認定講習」の受講対象者

- 以下の資格を有する方が受講対象となります。
 - (1) 第二種電気工事士免状の交付を受けた方 または
 - (2) 電気主任技術者免状の交付を受けた方
- 次の方は認定講習会を受講しなくても、申請により認定電気工事従事者認定証の交付を受けることができます。
 - イ 第一種電気工事士試験合格者
 - ロ 第二種電気工事士免状交付後、電気の仕事の実務経験が3年以上ある方
 - ハ 電気主任技術者免状交付後、電気工作物の工事、維持もしくは運用に関する実務経験が3年以上ある方

「認定電気工事従事者認定講習」の受講を希望する方は
一般財団法人 電気工事技術講習センターのホームページをご覧ください。

認定電気工事従事者認定講習

<http://www.eer.or.jp/approval/>

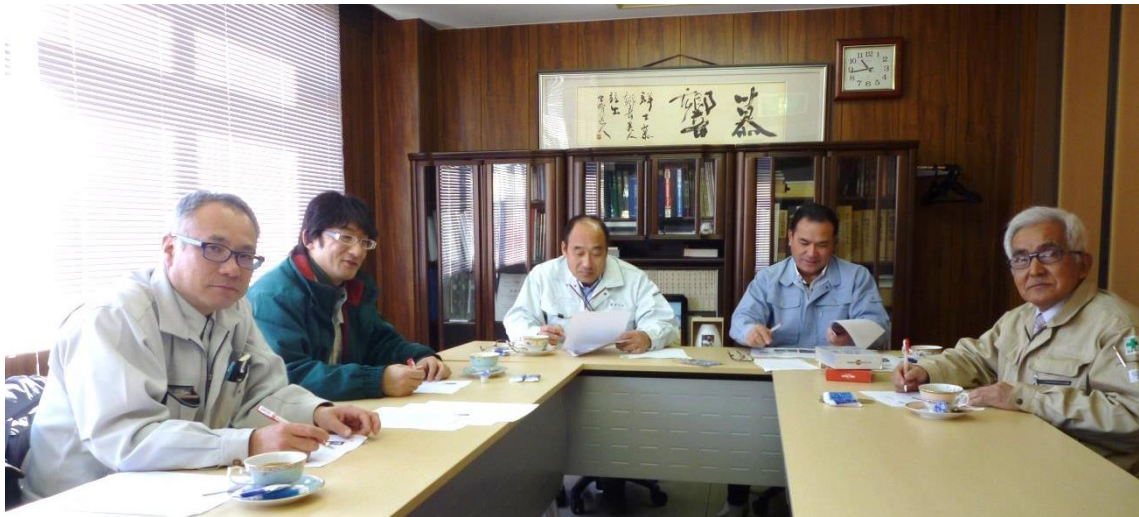


● 3 認定電気工事従事者認定証の交付申請先

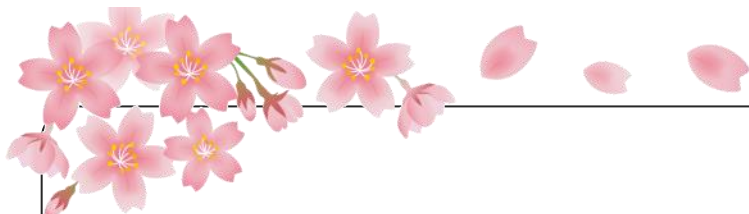
「認定電気工事従事者認定講習」修了後、居住地を所管する産業保安監督部に下記の書類を添えて申請してください。

1. 認定電気工事従事者認定講習修了証
2. 認定電気工事従事者認定講習講師の資格証明書

一般財団法人 電気工事技術講習センター
〒105-0004 東京都港区新橋 4-7-2 6 東洋海事ビル 4 階
TEL 03-3435-0897



2月15日 総務委員会 長野電気会館に於いて



編集後記

本号は発行が3月ということですが、2017年最初の新年号となります。

旧年中、原稿執筆にご協力いただいた方並びに本通信をお読みいただいた皆様には大変お世話になりました。御礼申し上げます。年末年始は正に暖冬という予報に相応しく、雪も降らず、元旦については冬支度では暑いくらいでした。

…などと思っていたら、大寒波による大雪。今シーズンはしなくて済むかも、などという淡い期待は見事に打ち砕かれ、雪かき生活の到来です。毎日汗だくになってやっております。

そんな中明けた2017年、トランプ氏の大統領就任をはじめとし、先の東京オリンピック、天皇の退位、それに伴う元号変更等、将来に向け考えていかなければならない問題が多くあります。世界や国内の情勢が様変わりするように、我々の周りも大きく変動していく、そんな年になるのではないのでしょうか。

多くの変化が予想される年ですが、会員の皆様、ご家族様、社員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

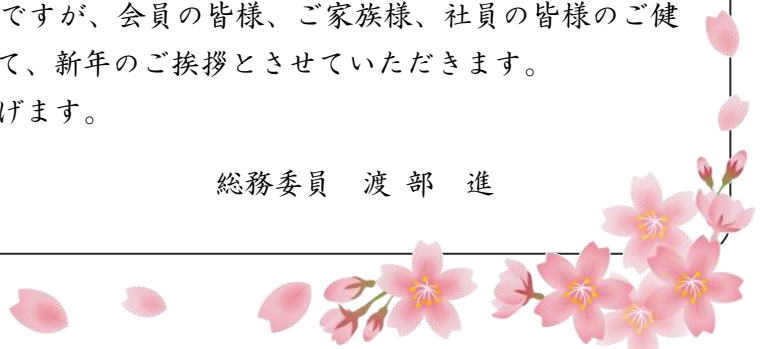
本年もよろしくお願い申し上げます。

総務委員 渡部 進

編集

担当副支部長 高津 和忠
総務委員長 玉木 新二
総務副委員長 伊東 敬晃

総務委員 久保田雅史
渡部 進
酒井 重喜
(事務局 倉嶋)



美しく快適な省エネ照明を求め続ける



ながの電材会

大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセー電機

春

(五十音順)